

安全データシート

作成日：2024/11/26

改訂日：2025/04/17

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	UROVYSION DNA FISH PROBE KIT (UroVysion DNA Probe Mixture)
製品コード	02J2721_30-171070
供給会社の名称、 住所及び電話番号	アボットジャパン合同会社 東京都港区三田三丁目5番27号 0120-031441
緊急連絡先	カスタマーサポートセンター 0120-031441
整理番号	CSC602-2

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類	
物理化学的危険性	区分外
健康に対する有害性	
生殖毒性	区分 1B
環境に対する有害性	区分外

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

胎児への悪影響のおそれ

注意書き

使用前に取扱説明書を入手すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡を着用すること。
ばく露、もしくはその恐れがある場合：医師の診察/手当てを受けること。
内容物/容器を現地の規制に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
-------------	-----

CAS 番号	化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲
75-12-7	ホルムアミド	43.7 %
非公開	非公開	56.3 %

4. 応急措置

吸入した場合	暴露源を取り除くこと。医師の診察/手当て及び適切な経過観察を受けること。
皮膚に付着した場合	製品と接触した衣類をすべて脱ぐこと。汚染した部分を石鹼と水で洗うこと。医師の診察/手当て及び適切な経過観察を受けること。
眼に入った場合	眼を開けた状態で、水で数分間注意深くすすぐこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診察/手当て及び適切な経過観察を受けること。処置後に手を洗うこと。
飲み込んだ場合	水で口をすすぐこと。医師の診察/手当て及び適切な経過観察を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素、噴射水、または泡消火剤 注意：閉鎖された空間で二酸化炭素を使用する場合には、酸欠を引き起こす可能性があるため、注意すること。 規模の大きい火災の場合：この製品に関連する消火活動の方法を決める際、考慮すべき特有の化学物質や危険な反応性はない。環境に適した消火剤を使用すること。
使ってはならない消火剤	情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	潜在的な感染性物質として取り扱うこと。 適切な個人用保護具を用いて人体へのばく露を最小限にすること。保護具については項目 8 を参照。可能であれば漏出を止めること。保護具を装着していない人を遠ざけること。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法 及び機材	液体及び蒸気を下水道、排水口、表層水または土壤に浸入させないこと。 少量の漏出の場合はペーパータオル等で吸い取る。 大量の漏出の場合、吸収材で囲って流出を防止する。ペーパータオル、一般的な吸収材、砂、珪藻土、おがくずなどの液体吸収材で吸い取ること。 漏出したエリアを清掃すること。温水と合成洗剤または類似の洗剤が適切である。 適切な消毒剤を使用すること。血液由来の感染性物質だけでなく、環境への漏出が懸念される微生物由来物質についても効果が期待できる消毒剤を選択すること。結核菌に効果を発揮する消毒剤は、一般的に既に存在が知られている全てのウイルス及び非孢子形成性細菌にも効果を

発揮し、多くの病院環境にも適している。

注：市販の消毒剤は製造元の取扱説明書に従って取り扱うこと。消毒剤は一般的に多くの化学物質、市販剤および生体組織と反応性を示す危険性のある化学物質である。消毒剤を使用する前に、製造元の安全情報入手し、よく読むこと。

漏出で汚染されたものの廃棄方法については、国や自治体の規制に従うこと。製品により汚染されたものの廃棄に影響を与える可能性のある情報については、項目 13 を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

潜在的な感染性物質として取り扱うこと。
粉じんまたは蒸気が発生する場合は、局所換気装置を使用すること。

保管

安全な保管条件

保管に関する追加情報は、添付文書、または製品ラベルを参照すること。

安全な容器包装材料

購入時の容器及び包装で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

保護具

呼吸用保護具

通常の使用と保管—よく換気されている室内では呼吸用保護具は必要ない。

少量の飛沫(例 ペーパータオル等で十分吸い取ることができる量)の場合—よく換気されている室内では呼吸用保護具は必要ない。

その他の異常事態 (例 大量の漏出)の場合—化学物質濃度が暴露限界を超えているような場合には、適切な濾過式呼吸用保護具を使うこと。有害物質の緊急事態又は消防活動の場合：適切な呼吸器の保護具を使用すること。

化学物質濃度が暴露限界を超えているような場合には、注意すること。

手の保護具

接触が予想される場合、不浸透性の保護手袋を着用すること。使用して汚染された手袋は適切に廃棄すること。

眼の保護具

安全眼鏡等を着用すること。液がはねる可能性がある場合、フルフェイスマスクまたはゴーグルを着用すること。

皮膚及び身体の保護具

通常の使用：実験服か他の適切な保護服を着用し、衣服の汚染を防止すること。大量の漏出(例 衣服にしみ込む量)の場合：防水性の適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色
臭い	無臭

沸点又は 初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	対象外
爆発下限及び爆発上限界 / 可燃限界	下限界：0.0 Vol% 上限界：0.0 Vol%
引火点	対象外
自然発火点	0 °C
分解温度	情報なし
pH (20°C)	7.5
動粘性率	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	1 g/cm ³ (比重 (相対密度) 20 °C)
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	仕様書通りの使用、保管であれば、分解しない。
危険有害反応可能性	危険有害な反応は報告されていない。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は報告されていない。

11. 有害性情報

混合物として

急性毒性	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
皮膚腐食性 / 刺激性	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
呼吸器感作性又は皮膚感作 性	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
生殖細胞変異原性	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
発がん性	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
生殖毒性	胎児への悪影響のおそれ
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。

誤えん有害性

利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しない。

1 2. 環境影響情報

生態毒性

情報なし

残留性・分解性

情報なし

生態蓄積性

情報なし

土壌中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託処理すること。

汚染容器及び包装

関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号

ADR, IMDG, IATA

該当なし

国内規制がある場合の
規制情報

項目 15 に適用法令がある場合はそれに従う。

1 5. 適用法令

法令名	規制に関する情報	法文物質名等の情報
化学物質排出把握管理促進法	第 2 種指定化学物質	ホルムアミド
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物 名称等を通知すべき危険物及び有害物 皮膚等障害化学物質等・皮膚吸収性有害物質	ホルムアミド
消防法	第 4 類引火性液体、第三石油類水溶性液体	ホルムアミド
海洋汚染防止法	有害液体物質・Y 類物質	ホルムアミド

1 6. その他の情報

連絡先

お問い合わせの第一報は、
カスタマーサポートセンター：0120-031441 まで。

その他

この安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に準拠し、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには充分注意してください。
なお、含有量、物理/化学的性質、危険有害などの記載内容は、情報提供

を目的とするものであり、いかなる保証をなすものではありません。
注意事項は通常の手扱いを対象としたものであり、特殊な手扱いをする
場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。
また、この安全データシートの内容について、特に混合物の場合には、
成分の濃度等を考慮した上でご閲覧ください。